

郷土の俳人 瀧之本連水展

瀧之本連水展に寄せて

三島市教育長 吉川 静雄

伊豆佐野の人瀧之本連水は、我が三島の俳諧史にとって、一時代を画した名風雅人です。

年代は若干前後しますが、伝馬町（現大社町）に生まれた孤山堂卓朗、八反畑に成人した孤山堂凌頂と共に、三島俳諧三名人、とでもたとうべき人です。

ところが、わずか百年ほど前の人ですが、その事績がとかく埋もれがちで、現在ごく一部の者にしか知られていないことは、まことに惜しいことです。

今回のこの特別展を通して、多くの人々にこの郷土の文化人を紹介し、一人でも多くの方に、連水への関心と理解をお持ち願いたいと考えます。

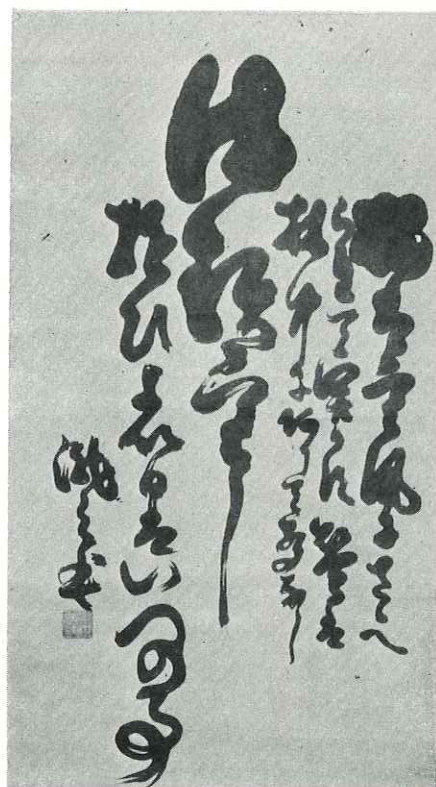
昭和51年 6月1日～ 8月22日

三島市郷土館



連水肖像画

瀧之本連水62才の時の肖像。



俳句

梅は寒風にささえられて開かず
うぐいすは林中にありて声なし
春寒し 遊びよい日は いつのこと
瀧之本



俳関の扁額

連水は『俳関』を沼津の連山より受け継いだ。佐野の連水亭は当時俳句の関所として全国の俳人達の立寄る所であった。

■ 連水について

連水は天保3年(1832)伊豆佐野村名主勝俣常昭^{なぬし}の長男として生まれた。連水という名は俳諧の号で、通称は勝俣猶右衛門^{なかと えもん}であった。勝俣家は代々名主の家柄であったので、連水も家を継ぐと直ちに佐野村名主役となった。名主としての任務は村内の農耕全般あるいは村民の生活全体にわたって指導監督をし、年貢の収納を確実にすることであった。連水の名主役中、慶応2年(1866)天候不順のため五穀の実りが悪く、村民が窮乏した時、彼は自分の倉を開放して窮民を救ったという話が伝えられているが、連水の人柄を物語る話として興味深い。

俳諧における出発は三島宿伝馬町出身の俳人孤山堂卓郎^{こさんどうたくろう}との出会いであった。後に沼津の種玉庵連山^{しゆぎやくあんれんざん}に師事し、その地位と名を決定的なものとした。連山が掲げていた『俳関』の称号^{はいかん}はやがて連水に受け継がれ、連水亭は東海道を往来する全国の俳人達の関所として大変にぎわった。連水の交友は広く、東海道筋をはじめ下総、越後等、全国に及んでいる。

現在、三島市佐野の勝俣家には、連水が名主として、俳人として活躍したことを物語る古文書^{こもんじよ}等が数多く残されている。

■ 連水と関係年譜

西 暦	年 号	事	蹟
1644	正保元年	<small>ばしやう</small> 芭蕉生まれる。	
1694	元禄7年	芭蕉没。	
1783	天明3年	<small>おそん</small> 蕪村没。	
1794	寛政10年	<small>こさんどうたくろう</small> 孤山堂卓郎、三島宿伝馬町に生まれる。	
1809	文化6年	<small>しやうやくあんれんざん</small> 連水の師種玉庵連山沼津仲町に生まれる。	
1827	文政10年	<small>いっさ</small> 一茶没。	
1832	天保3年	連水豆州佐野村（現在の三島市佐野）に生まれる。	
1852	嘉永5年	<small>ばいしつ</small> 梅室没（連山の師で『俳閑』の文字を書いた人物）	
1846	弘化3年	<small>みょうほ</small> 茗圃（柏木甚蔵）生まれる。後瀧之本二世となる人物。	
1858	安政5年	連水27才で家業を継ぐ。佐野村名主役となる。	
1859	安政6年	4月、連水の父常昭病没。	
1860	安政7年	4月、連水母をも失なう。	
1866	慶応2年	この年、連水は天候不順による村民の窮乏を救済し、官より賞せられる。区内17か村の副議長に挙げられる。	
1867	慶応3年	『俳家新聞』刊。	
1868	明治元年	連山60才にして病没。	
1870	明治3年	<small>しゆんこ けいちゆう じっしやう</small> 春湖、契仲の十州日記成る。両人は旅の途中、連水亭を訪う。	
1892	明治25年	連水、京都の湖雲堂から『 <small>くもきりしやう</small> 雲霧集』を出版。	
1898	明治31年	連水67才の生涯を閉じる。	
1917	大正6年	親戚知己門弟らが連水翁の碑を勝俣邸の入口に建てる。	
1930	昭和5年	33回忌記念として連水翁の流れを汲む門下によって句碑が建てられる。 （佐野見目神社境内）	

■ 出品協力者（50音順）

氏 名	住 所
梅原 智恵子氏	沼津市西間門344-4
勝俣 巖氏	三島市佐野1087
勝俣 孝氏	沼津市大岡日吉1636-5
勝俣 芳幸氏	三島市大社町17-10
水口 愨雄氏	清水町伏見760
渡辺 武彦氏	裾野市富沢8
渡辺 政夫氏	三島市中央町4-4



連水の句碑は佐野見目神社境内にある。

—述懐 富士のふもと廻り

尽さで 老にけり 連水—

(〒 411) 三島市一番町19-3
 市立公園楽寿園内
 三島市郷土館
 ☎ <0559>71-8228

